

名古屋芸術大学グループ 通信

56
October
2021

【再編】
人間発達学部は、教育学部へ

【新設】
演奏家を養成
プロフェッショナルアーティストコース

【領域横断】
陶芸×ガラス×テキスタイル×メタル
工芸分野領域横断スタート

Close up! NUA-ism

～進化する「名古屋芸大」のDNA

NUA-Student

芸術学部 芸術学科 デザイン領域 1年生
樋廻里彩

Master & Artist

マスターとアーティスト

人をつなぐ仕事

美術領域

ミュージックエンターテインメント・

ディレクションコース

非常勤講師 古川博



名古屋芸術大学グループ

<https://www.nua.ac.jp/>

■名古屋芸術大学 大学院：音楽研究科 芸術研究科
美術研究科 デザイン研究科
人間発達学研究科

学部学科：芸術学部 芸術学科
音楽領域 舞台芸術領域 美術領域
デザイン領域 芸術教養領域
人間発達学部 子ども発達学科

■名古屋芸術大学保育専門学校
■名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園
■滝子幼稚園 ■たきこ幼稚園 ■愛知保育園
■幼保連携型認定こども園 森のくまっこ ■名古屋音楽学校

教育学部へ

2007年4月の開設以来、多くの小学校・

幼稚園教諭、保育士を輩出してきた人間発達学部は、2022年4月教育学部へと名称変更します。もちろん名前だけでなく、中身も大幅にパワーアップ。情報化社会、グローバル化、いじめや貧困といった、子どもたちをめぐるさまざまな課題に向き合うことができる、これからの時代に求められる「新しい教育・保育の実践力」を身につけられるようコースを再編成。より広く、より深く、子どもたちを育むことはもちろん、学生自身の生きる力を育む教育学部なのです。



教授/
子ども発達学科長
安部孝

再編の背景を、人間発達学部長 溝口哲夫教授、子ども発達学科長 安部孝教授に伺いました。

求められる教師像は時代とともに変わってきています (溝口)

—教育学部という名称になりますが、再編の背景を教えてください。

溝口：根本的なことをいえば、教育学部というのは先生になるための学部学科であり、それを学ぶ学部なんだとはっきりとわかるようにしたいということがありました。人間発達学部という名称に思い入れもあるのですが、高校生や高校

の先生にわかりにくいという側面がありました。子ども発達学科といえば、子どもに関することだとわかりますが、先生になるための学部学科なんだということがストレートに伝わることを重視しました。

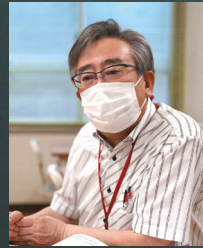
中身については、これまでと同様に小学校、幼稚園、保育園の先生を目指すということは変わりません。ただし、日本中に先生になるための免許・資格がとれる教員養成系の学部がありますが、内容はほとんどどこも同じなんです。そう

した中で、名古屋芸術大学という芸術大学にある教育学部として、特色ある学び、芸術大学からできる学び、また附属幼稚園や保育園での実践的な学びを重視しています。

そしてもう一つ、現代の幼児教育、小学校教育が求める教師像、これは時代とともに変わってきています。端的に言えば、新学習指導要領で小学校に英語とICT教育が加わっています。これらの授業を行うことのできる先生が必要になってきました。そのため、学校教育系のコース

【再編】

人間発達学部は、



教授 / 学長補佐人間発達学部長 /
人間発達学研究科長
溝口哲夫

では「小学校教育コース」、「子ども英語コース」、「子どもICTコース」を設けています。

もちろん芸術大学ということで、「子ども創作・表現コース」も設置しています。これまでも「子ども芸術コース」を設置していましたが、幼稚園・保育園から小学校への連続性を考慮して、いままでとは少し違う形で考えています。

安部: 幼児保育・福祉系のコースでは3つのコースを設けています。従来型の「幼児教育・保育コース」、発達支援の「子ども支援コース」、それからスポーツ関連の「子ども健康・スポーツコース」の3コースです。3つありますが、発達にかか

わることと支援がひとつにまとめられて、どちらかというこれまでよりコンパクトになったというか、濃縮されたように感じています。この領域ではこれまで人間発達で取り組んできて、大学院もありますから、どうなるかと思われる向きもあるかもしれませんが、濃縮されて一領域になったという感じですね。それからスポーツですが、小学校だと教科体育（運動を通して心身を全面的に形成し、生涯を通じて運動をする基礎的な知識や技術を身につける）が考えられますが、教科体育よりももっと基本的なこと、裾野というか、幼児から生涯体育や人間の健康なども含め

てやっていけることがあるのではないかと思います。ですので、学校教育系ではなく、幼児保育・福祉系のほうに入っています。

溝口: 結局、幼児教育の一番のポイントは、あそび、運動だということです。だから、幼児教育の中の運動や健康教育というのが大事なんです。これから日本のことを考えれば、求められるのはその部分ではないでしょうか。もうすでに健康面のことは、高齢者を含め生涯を通じて考えなければならぬことになっています。スポーツといえば、どちらかという競技になってしまいがちですが、そうではなく、健康のために身体を

動かすこと、生涯学習の中でも位置付けられていますね。幼児期から、そうした運動の習慣や身体の使い方を身につけることが大事になっていくと思います。子どもは運動すること、動くことが好きなはず。そこを伸ばす。幼児教育の中で、それは培われるものではないかと思えます。

-7つのコースに細分化されるとなると英才教育的な感じになるのかと思いましたが、そうじゃなくもっと根源的な部分で捉えているのですね。

安部: 僕の理解ですが、運動の高徳先生(高徳 希 准教授 専門分野: 健康・スポーツ科学、バイオメカニクス、子ども学)は、考えながら動くことを大事にされる先生。おそらく子どもたちの動き自体を観察する視点を持つことから入っているのかな、と思っています。いままで本学でやっていた競技性の高いものとは、また違った視点かもしれないですね。

溝口: それから今後、小学校教育で求められているものに教科担任制というのがあります。いままでは、担任が全部の教科をみていました。これからは専門性。もっといえば、その先生の得意なものを教える、そういう方向へ向かっています。それも含めて、文科省は「チーム学校」(チームとしての学校)というのを提唱しています。学校にはいろいろな先生がいて、先生以外

にも健康面や福祉面でのカウンセラーやソーシャルワーカー、部活動指導員、図書館司書など、それぞれ得意な分野を持つ人たちがひとつの学校を作り上げていくというのが「チーム学校」です。小学校の先生はすべての教科を教えていくわけですが、それぞれに得意や好きがあります。そういうことを生かしていく、その人が持っている得意なもの、好きなものを伸ばしながら教師になっていく。こうしたことが求められている教師像じゃないかと思えます。

なんとかやっていく力が求められる (安部)

-愛知県をはじめ東海地区は海外からの労働者も多く、保育園や小学校でも外国籍の子どもがいることが普通になってきました。小学校の英語教育も始まりました。ICTや英語コースの手応えはいかがですか？

溝口: オープンキャンパスでは、ぼつぼつとICT、英語に興味があるという高校生が来ています。ニュースなどをみて、小学校のカリキュラムの変更など新しい分野に興味を感じているのではないかと思います。

外国籍の子どもでいえば、小牧市、岩倉市など本学の近隣でも高い比率になっていますね。岩



将来目指す職業やイメージを明確にし、なりたい自分を実現する4年間

1年次

「子ども」と「学び」の基礎力を習得

子ども・ファンデーション

子どもに関する幅広い知識と教育・保育の技能を身につけ、
“なりたい自分”の基礎を培う

[主な開講科目]

子ども学総論、生涯発達心理学、教職論、生活、体育、音楽、図画工作、
多文化共生論、子どもの運動あそび、学校とICT、ピアノ実習1・2、
保育内容総論、保育原理、保育の心理学、社会福祉など

子ども学演習(入門ゼミナール)

教育学部で「子ども」を学ぶための方法や考え方、スキルを養う

2~4年次

7つのコースに分かれて
子どもと教育・保育に関する専門性を深める

学校教育系

小学校教育コース

子ども英語コース

子どもICTコース

幼児保育
福祉系

子ども創作・表現コース

幼児教育・保育コース

子ども支援コース

子ども健康・スポーツコース

子ども・ファンデーションってなに？

教育学部では、1年次に基礎教育として学科共通カリキュラム「子ども・ファンデーション」を導入。ファンデーションを通して、乳児期から青年期までの子どもに関する幅広い知識と教育・保育の技能を総合的に身につけ、子ども全般への理解を深めます。



倉東小学校では、外国人児童比率はおそらく50%近くあるのではないかと思います。

安部: 難しいなと思ったのが、大学のコースや専修の英語という、学力的な英語、教科学力的な英語をイメージしてしまいます。でも、学部長がいうように、必要な英語はまた別なんですよ。コミュニケーションするための英語が必要で、そこをどうやって伝えていくかが問題です。英語専修コースというふうに、たとえば英語が好きな高校生が受験しようとしたとき、リーディングとグラマーが得意な専修のように受け取ってしまうのではないかと心配なんです。

溝口: 実際、近隣の場でいえば、英語よりもポルトガル語のほうが有用かもしれませんし、そうした実体を踏まえて、そこをなんとかやっていく力が求められるわけですからね。

対処能力より、本来なら問題が起きないような学校作りを(溝口)

—英語に限らず本来、先生という仕事は現場力がすごく必要ですよ。

溝口: 今、教員志望者が減っているんです。不登校やいじめ、あるいは貧困や家庭の問題など、学校が対応すべき問題が増えています。先生にはこれらに対応するためにたくさんのことが求

められるようになりましたが、どちらかというと対処能力という部分が多いように思います。でも本来なら、対処する力が必要なのではなく、そういう問題が起こらないようにする学校作りができることが必要なのだと思います。経験すれば、先生という仕事はすごく楽しい、やりがいのある仕事だとわかります。自分の得意を生かして、子どもたちと一緒に楽しい学校生活を送れるようにしていくこと。現場力というか、こうした力が重要です。問題に対処するだけでなく、楽しい学校作り、学級作りのできる先生が求められるのだと思います。

新型コロナで学校が休みになってしまったとき、子どもたちから「学校へ行きたい」というたくさんの声が聞かれました。新型コロナの影響で、そのことに気が付いた子どもたちがたくさんいると思います。それが基本だと思うんですよ。バーチャルだけでなく、現実も楽しいんだと。そして先生には、子どもと子どもをつなぐ役割があります。今ある問題をなくすには、学校は楽しい、仲間と一緒にあそんだり、勉強したりするのが楽しいんだと実感する。それがやっぱり一番必要なことではないかと思います。

クリエイティブな環境で、「感性」を磨き、「創造力」を養う

地域や社会とかがわり合いながらよりよい社会をともに築いていくことが、今後ますます次代を担う子どもたちに求められるようになると思われます。そうした力を育むのが「共感する力」。「感性」を磨き、「創造力」を養うことで、共感する力を育むことができると考えます。そしてこれらの力は、音楽や美術、デザインといった芸術の学びを通して養われる力でもあります。芸術に打ち込む学生たちとともに学び、さまざまな表現活動に触れられる4年間。こうした環境が、現場で欠かすことのできない教育・保育の実践力をより本質的なものへと導いてくれます。

■特徴的な取り組み



春を呼ぶ芸術フェスティバル

ピアノなどの楽器演奏やダンス、合唱など、芸術大学ならではの環境を生かし、学生が多彩な芸術活動を発表する本学の伝統イベント。一般にも公開され、毎年、地域のたくさんの子どもたちにも楽しんでもらっています。



子ども大学

地域の小学生が本学に体験入学し、教育学部の教員による授業を実際に受講します。将来、小学校の先生を目指す学生がサポートしながら、理科工作、赤ちゃんのお世話体験、パソコンを使ったゲーム作りなどを通して楽しく学びます。



教員採用試験対策学習会

教職を目指す学生が定期的集まり、互いに切磋琢磨しながら、教員採用試験に向けた勉強や、面接の練習などをグループで実施しています。

教員による丁寧な指導により、学生個々に応じたサポートを行っています。

7つのコースで身につける プラスアルファの専門性

教師・保育者には、多くの複雑な課題に対して一層の専門的力が求められます。教育部では、これからの時代に求められる新しい教育・保育の実践力を身につけるため、多彩で専門的な全7コースを設置。免許・資格の取得にとどまらず、教育・保育の現場で大いに役立つ"プラスアルファの専門性"を身につけることができます。

取得できる免許・資格と取得率

2年次以降は、選択するコースによって学修内容や取得を目指す免許・資格が異なります。将来目指す進路や職業を見据えながら、各コースの専門分野の学びを深めていきます。

小学校教諭 (小学校教諭一種免許状)

公立・私立小学校の教諭になるために必要な免許です。また、教育関連の職業に携わる選択肢を広げます。免許取得のためには、法律で定められた科目を履修、所定の単位数を修得することと、4年制大学の卒業が必要です。

▶管轄：文部科学省/学校教育法 対象：6歳から12歳まで

幼稚園教諭 (幼稚園教諭一種免許状)

幼稚園・認定こども園の教諭になるために必要な免許です。免許取得のためには、法律で定められた科目を履修、所定の単位数を修得することと、4年制大学の卒業が必要です。

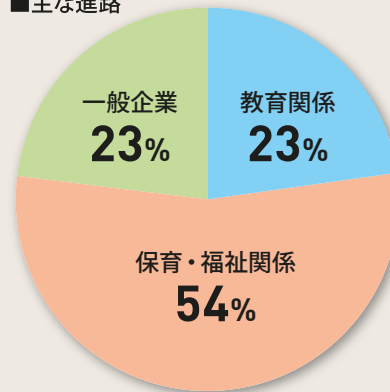
▶管轄：文部科学省/学校教育法 対象：3歳から小学校就学まで

保育士 (保育士資格)

保育所・認定こども園で活躍する保育士になるための資格です。また、児童福祉施設・児童養護施設・乳児院など、子どもの福祉や教育に関する高度な専門性が必要とされる仕事を目指す際にも、有効となる資格です。

▶管轄：厚生労働省/児童福祉法 対象：0歳から18歳未満

■主な進路



教育関係 23%

愛知県・岐阜県・三重県 他
公立小学校/公・私立幼稚園
認定こども園 他

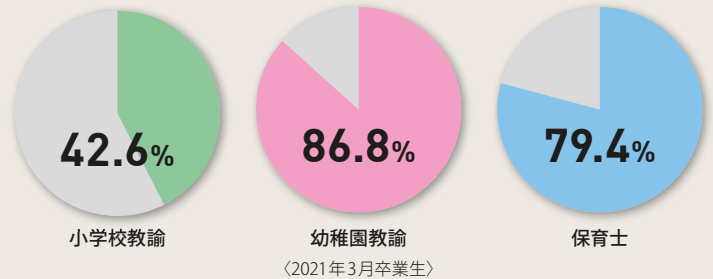
保育・福祉関係 54%

公・私立保育所/児童養護施設/
学童保育所 他

一般企業 23%

小売業/サービス業/
郵便業/製造業 他

■卒業生の免許・資格取得率



このほか、「児童指導員資格」(児童養護施設や障害者施設などで、子どもたちが健全に成長できるように生活指導をするのが児童指導員です。各自治体の地方公務員試験に合格した後、児童養護施設などに児童指導員として配属されます)、「社会福祉主事資格」(公務員が福祉事務所など福祉行政の仕事に就く際に必要な資格です。生活保護などを求める人の相談に乗り、援助を行うケースワーカーとして活躍できます)、「普通救命講習I修了証」(心肺が停止した傷病者に対して、救急車が到着するまでの時間に、その場に居合わせた人が適切に応急手当するための、「心肺蘇生法」とAED(自動体外式除細動器)を中心とした講習です)、「レクリエーション・インストラクター」(レクリエーションを通して、人と人との交流の促進、学習活動、生涯スポーツなど、幅広い分野の支援を行います。レクリエーション関係の所定の単位を取得し、日本レクリエーション協会に申請すれば資格が得られます)などの資格の取得が可能です。



小学校教育コース

地域との連携を生かし、確かな教育実践力を身につける

小学校教諭の養成を主な目的としています。小学校で教えるための教科指導の方法はもちろん、学級経営、家庭や保護者とのかかわり、地域との連携など、小学校全体について幅広い視野から学びます。

本コースの特長は、実際の教育現場にて、直接児童や先生方と交流することで、より実践的な力を身につける学修スタイルです。本学には小・中学校での校長経験を持つ教授陣が揃っており、地域の小・中学校と連携したり、隣接する附属幼稚園や系列の認定こども園での活動に携わったりします。そのため、昨今の教育課題である幼稚園や保育所、認定こども園から小学校への連続や、小・中学校間の接続なども視野に入れた実践力を磨くことができます。



子ども英語コース

英語教育を通して、国境や文化を越えて認め合う心を育む

小学校英語の指導法を専門的に身につけ、異文化交流や多文化共生の視点を備えた小学校教諭を養成します。グローバル化が進む日本では、学校現場における外国籍児童の増加など、子どもたちの多様化が進んでいます。これからの学校で大切なのは、子どもたちがさまざまな言語でのコミュニケーションに親しみ、心を通わせ合う喜びを体感すること。そして教師には、多様な価値観を認め合い、ともに社会を築いていけるように、子どもたちを導いていくことが求められます。外国語教育を通して多様な言語や文化、価値観について深く理解し、互いを尊重しながら学び合うことの大切さを伝えることができます。教員を目指します。



子どもICTコース

ICTを活用し、次世代の子どもたちの教育をリードする

小学校におけるICTを活用した教育について専門的に学びます。これからの学びを支えるICTや先端技術の効果的な活用法、適切な指導法を探り、次世代の新しい教育の在り方を考えていきます。

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化され、あわせて「GIGAスクール構想」もスタートしました。そのため、近年の学校現場では時代の急速な変化に対応するために、ICTの専門的な知識とスキルを持った教育人材の養成が急務となっています。本コースでは、ICTを活用した授業方法や指導法、情報モラル教育などに関する専門性を深め、新しい時代の教育をリードする“学校ICTの専門家”を養成します。



子ども創作・表現コース

芸術教育を通して、子どもの可能性を拓く感性と創造性を育む

芸術教育の専門的な指導を通じ、子どもたちの豊かな感性と創造力を育む教員を養成します。歌や楽器演奏などの音楽分野と、絵や立体・工作、鑑賞などの美術・図画工作分野を中心に、それらが持つ教育的な意義や指導法について学ぶほか、幼稚園や保育所から小学校への連続性も考慮しながら、附属幼稚園をはじめ実際の教育・保育の現場で実践を重ねていきます。芸術大学ならではの環境を生かして、芸術学部で開講する科目も一部履修したりしながら、さまざまな芸術活動に向き合うことにより、自分自身も豊かな感性と表現のスキルを磨いていきます。



幼児教育・保育コース

豊富な実践の機会で、現場力を備えた幼稚園教諭・保育士へ

幼稚園教諭・保育士の養成を主な目的としています。特に、子どもたち一人一人の個性に寄り添い、成長に応じた教育・保育を行うことができる幼稚園教諭・保育士を目指します。子どもの発達や生活、文化などを詳しく学び、子どもが安全で健康に過ごすための教育・保育の方法を学ぶとともに、子どもの育ちに欠かせない“生活やあそび・適切な環境と援助・人間関係や家庭の役割”などへの理解を深めます。また、実習をはじめ、普段の授業やゼミ、ボランティア活動などで実践の機会を数多く用意。附属園や地域の園などとの連携により、子どもたちと交流しながら幼稚園教諭・保育士としての資質と実践力を養います。



子ども支援コース

社会や家庭と連携しながら、子どもたちの成長と自立を支援する

近年、教育や保育の現場は、児童福祉に関するさまざまな課題に直面しています。発達障がいや貧困の状況にある子どもたちへの支援、いじめ、虐待、居場所の問題など、解決すべき課題は数多くあります。

本コースでは、0歳から18歳未満の子どもたちの発達や障がい、児童福祉に関する課題などについて専門的に学びます。特に、子どもたちの個性を尊重し、成長を促すための支援や子どもの貧困、児童虐待などについて、さまざまな角度からアプローチします。児童福祉や発達支援の専門施設・機関に実際に足を運び、現場の実情と向き合いながら学びを深め、福祉施設や保育所、幼稚園、学校などで子どもたちの成長と自立をサポートできる人材を目指します。



子ども健康・スポーツコース

運動あそびの楽しさを伝え、子どもたちの健やかな育ちを導く

運動あそびは、子どもたちの基礎的な体力や動きの発達・向上だけでなく、人間関係やコミュニケーション能力が育まれるなど、子どもの心身の発達にとっても効果的です。

本コースでは、主に幼児の健康と運動面における指導の方法や効果などについて深く学びます。そして、子どもたちの心身の成長と発達を支援できる専門性を身につけた幼稚園教諭・保育士を養成します。たとえば、屋内でも楽しく安全に体を動かせるような工夫をしたり、一緒に働く他の教員に運動指導に関するアドバイスや提案をしたりしながら、子どもたちの心身の健康と健やかな成長をサポートできる教員を目指します。

アーティストコース

音楽領域の演奏系コースでは、国内のみならず世界を舞台に活躍できるプロの音楽表現者の養成を目的とする「プロフェッショナルアーティストコース」が新設されます。実際に世界の舞台上で活躍する横山幸雄、上原彩子両特別客員教授を迎えて、高いレベルでのレッスン・教育プログラムが設定されています。

新コースについてピアノコースの川田健太郎講師、戸田恵講師にお話を伺いました。



川田 健太郎 講師

東京藝術大学附属高卒業後、ロームミュージックファンデーション海外派遣奨学生として国立モスクワ音楽院卒業。第14回かながわ音楽コンクール第1位、第4回東京音楽コンクール第3位、第15回ラフマニノフ国際ピアノコンクールファイナリスト等受賞多数。これまでにソリストとして東京フィル、大阪フィル、九響、仙台フィル等、日本の主要なオーケストラと数多く共演。活動の場は幅広く、映画「のだめカンタービレ最終楽章」、日本テレビ系金曜ロードSHOW!「ルパン3世グッバイ・パートナー」など、映画、CM、ドラマ、アニメ、舞台等、様々な音楽シーンで活躍。

コース設置の背景を教えてください。

川田: 本学は、他の音大には見られない多彩なコースがあり、学内も非常に活気があるのが魅力だと感じています。そんな中でも、今回新設されるプロフェッショナルアーティストコース（以下、PAコース）は、世界で活躍する演奏家を目指したいという、最もシンプルでコアな目的を持った受験生に向けたコースです。演奏家を目指す上で、向上意欲のある方には是非、いらして頂きたいです。

PAコースの、ピアノの分野を例に取って話しますと、世界的なピアニストの横山幸雄先生、上原彩子先生のお二人が特別客員教授として、現在いらして下さっています。年間で複数回、作曲家や時代スタイルを絞った特別講座や、個人の学生に向けた特別レッスンが用意されています。第一線のステージに立ち続けるお二方の熱のこもった特別レッスンや講座の内容は、世界に羽ばたく学生にとって、これ以上ない説得力と学びの場になるかと思えます。

また、PAコースの普段の通常レッスンは、演奏系コースのレッスン時間の倍にあたる、90分/週という充実した時間を本学の講師陣と学んでいきます。学外でのコンクールやリサイタル等、同時にたくさんレパートリーを仕上げていく事に対して、充実したレッスン時間は必要不可欠に思います。

戸田: 週90分のレッスン時間を45分ずつ二人の先生に習うことも可能なんです。私はフランスの大学に通っていましたが、向こうではアシスタント制と言って、どのクラスも教授のレッスンとアシスタントのレッスンをダブルで受けることが主流でした。二人の先生が全く同じ解釈をされているとは限らず、音楽の作り方やテクニク的な部分でさえ、それぞれ違うご意見を頂くこともありました。それを自分で、単純にどちらが好きか嫌いとかそういった事ではなく、たとえ真逆のご意見だったとしても、その都度自分が納得できるよう考えていたように思います。そしてそれが少しずつ音

楽的に自立していくことができた要因だったのではないかと考えています。90分というレッスン時間をどのように使うかというのは、PAコースの学生がそれぞれ自分に合うスタイルで選択し、充実させて欲しいと思っています。

また、室内楽の授業も充実したプログラムを考えています。この授業は、様々な楽器を専門とされる複数の教員が受け持ちますので、自分の専門とは違う楽器の先生方のレッスンはとても刺激になります。学生たちの中でも同じ志を持つどうしグループを組み、意見を交わしながら切磋琢磨していける環境をと考えています。

川田: また、PAコースの特徴として、海外でのコミュニケーションに不可欠な語学（英会話）にも力を入れたカリキュラムを予定しています。意思を伝える為の語学力も、外に目を向け活躍する上では、非常に大切だと考えています。

その他にも演奏解釈に直結するソルフェージュ内

プロフェッショナル

【新設】演奏家を養成

客員教授紹介



横山 幸雄 (Pf.)

1990年第12回シヨパン国際コンクールにおいて、日本人として歴代最年少で入賞。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など受賞。2010年ポーランド政府より、シヨパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「シヨパン・パスポート」が授与される。2010年「シヨパン・ピアノ・ソロ全166曲コンサート」及び2011年「212曲」を演奏し、「24時間でもっとも多い曲数を一人で弾いたアーティスト」としてギネス世界記録に認定。2011年デビュー20周年記念コンサートでは、チャイコフスキー、ラヴェル、ラフマニノフの協奏曲を一晩で演奏し、満場の喝采を博す。2013年からベートーヴェン生誕250周年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」をスタートさせるなど、自ら企画する数々の意欲的な取り組みにより、高い評価を確立している。



上原 彩子 (Pf.)

2002年第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性として、また日本人として史上初の第1位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外での演奏活動も意欲的に行い、2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれる。2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と2007年1月にはベルリン・フィル八重奏団と共演、また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーン・キュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行い、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エアラフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。

コース代表 教員紹介



松波 千津子
声楽コース



依田 嘉明
弦管打コース



日比 浩一
弦管打コース



鷹野 雅史
鍵盤楽器コース
(電子オルガン)

コースの特徴

POINT1

演奏実技レッスン時間
「合計90分/週」(45分x2回)
担当教授1名による計90分のレッスン、
または担当教授2名によるダブルレッスン制
の選択も可能

POINT2

**世界レベルの演奏家による
特別個人レッスン**

POINT3

世界を見据えた語学教育プログラム

POINT4

本コース生専用クラスの開講
高度ソルフェージュクラス、専用の室内楽アンサンブル授業など

POINT5

外部コンクール参加への各種支援
録音審査準備のサポート、参加費・交通費の補助など

身につく能力

- ▶ 高度な音楽表現・演奏スキル
- ▶ グローバルに活躍するための語学能力
- ▶ 演奏家としてのセルフプロデュース力

戸田 恵 講師

兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業後、渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ科併せて室内楽科、及びパリ・エコールノルマル音楽院卒業。名古屋芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ピティナピアノコンペティションE級全国大会ベスト賞、神戸芸術センターコンクールファイナリスト、イルドフランス国際ピアノコンクール(仏)第3位、シャトゥー国際ピアノコンクール(仏)第2位併せて日仏友好賞など国内外のコンクールにて多数入賞。フランス南部カステルノーダリピアノフェスティバルに招待されリサイタルを開催するなど、国内外で演奏活動を行っている。

容を考え、授業を展開する予定です。机上のソルフェージュではなく、自身の演奏に反映されるソルフェージュを目指します。また、PAコースの演奏会も年間の行事として開催予定です。多角的な視点で、ステージに立つ芸術家を育てる為のカリキュラムを用意しています。

ーテクニカルな部分以外の重要性は？

川田：改めて、楽器に向き合う以外の時間も大切だと感じます。言葉では表現出来ないものを、私達は音楽を通して表現している部分もあると思うんですね。言葉にしてしまった時点で断定されてしまう。そのもっと先の世界や精神の中で音を紡ぐとなると、やはり沢山の経験、感情の引き出しを増やす事が大切に思います。本学は芸術大学ですから、沢山のコース、そして美術の学生もいます。学生時代、沢山の分野の仲間と知り合って刺激合せて欲しいです。他のコースの学生と知り合うこ

とで、自分の知らなかった領域を広げるチャンスが広がります。興味と探求心さえ持っていれば、これ以上の環境は他に無い様に思いますね。入学してからのそういった化学反応にも、非常に期待しています。

戸田：私はこの大学の卒業生ですが、学生時代にもっと積極的に美術の学生とコミュニケーションを取りたかったなと少し後悔しています(笑)音楽領域の学生でも美術領域での催しに参加することができるので、是非是非たくさん交流を持って欲しいと思います。美術と音楽は密接に関係していて、音楽の歴史をたどっていくとこの曲はこの絵画を見て作られたみたいなのが多々あります。アートに触れられる環境はこの大学ならではの特権だと思います。

ー学生に求めることは？

川田：私達も芸術の道でいうと、一生「学生」なん

です。作品や自身の演奏に対して、対峙する毎日です。そういった意味でも、ずっと掘り下げていく探究心と好奇心が大事だと思います。そして今のこの時代、柔軟な考えも同時に持ち合わせて貰いたい。全く新たな表現の場や方法も、この分野はこの先も生まれると思います。私達教員も、学生と同じ目線、立場に立って社会に対してのプロフェッショナルなアートとは？活動の場とは？という問題を、一緒に寄り添い、考えていきたいと思っています。もっとも柔軟で多感な時期を是非PAコースで、才能を磨いて欲しいと思います。

戸田：私も同じく、大学1年生からの伸びしろは努力次第で2倍にも3倍にもなると信じています。PAコースに入り、在学中にどんどん実力をつけていってくれることを期待しています。またそのようなコースになるよう教員一同準備していますので、演奏家になりたいという強い意志を持って来て頂けたら嬉しく思います。



工芸コース
中田ナオト准教授

テキスタイル
デザインコース
扇千花教授

メタル&
ジュエリー
デザインコース
米山和子教授

本学では、工芸コース（陶・ガラス）は美術領域に、メタル&ジュエリー、テキスタイルはデザイン領域に分かれています。以前から工芸分野の交流は行われてきましたが、今年度から工芸分野領域横断を推し進めています。工芸分野の展覧会を連続開催する「工芸リレー」、大学外来者宿舎「グリーンシティ」の住環境を改善する「グリーンシティプロジェクト」、第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会（KOUGEI EXPO IN AICHI）に出展する「工芸EXPOプロジェクト」の3つのプロジェクトが進行しています。また授業では、美術とデザインの工芸分野の学生が交流するプログラムを行っています。

本来、工芸とは日常生活の中で使われている道具に、素材として、技術として、デザインとして美しさを備えたもので、それを作ること自体も工芸とされています。歴史的に考えれば、工芸は美術の概念が海外から持ち込まれた明治時代以前から存在し、とても身近なものです。美術、デザインという領域では括れないのが工芸であるとも言えます。また、いずれも素材を使って自らの手で創作するという共通点もあります。

工芸リレーの会場で、テキスタイルデザインコース 扇千花教授、メタル&ジュエリーデザインコース 米山和子教授、工芸コース 中田ナオト准教授に、工芸分野領域横断についてお話を伺いました。



連携で
どんなことが起こる？

米山：美術の領域では、分野を横断して、それをもとに表現したり、共同作業したりすることが以前から行われていますが、今回はデザインと協働するという形をとりました。美術という大きな括りの中ではそれほど特別な意識はないと思います。デザインは何かを解決するという方法論をしっかり持っていて、美術の世界の開かれた問いみたいなものにデザインの的なアプローチの方法を持ち込むことは、美術にとって異なる視点が生まれるのではないかと思います。そうした点からもすごく良い展開になるんじゃないかと、私はポジティブに考えています。

中田：もともと僕自身、デザインから美術へ流れてきた人間です。デザイナーになりたくて大学に入ったけれど、あるとき方向転換というか、意識が変わっていきました。デザインの中だけでデザインを考えていても、工芸の中だけで工芸を考

えていても詰まってしまう。そのことに大学在学中に気が付きました。「工芸リレー」では、メタルの講習会に、引っかけ回すというのはなんですが、変なこと言ってるなぐらいの感じでいいと思って参加しました。それには気付けなかったなと時間が経ってからわかるみたいな、そういうきっかけになればいいと思っています。わだかまりを残すようなことがないとその次に発展していかないので、僕はバグを起こすために行ったみたいな感じですね（笑）。

最近、人とのやりとりは工芸素材とのやりとりに似ている気がしています。コントロールできない何かが存在していて、なんとかしようとアプローチするけれど、勝手に思わぬことになっていってしまう。それで作り手としての僕は、どうやってそれを解釈していこうかと思案する。その問いかけとリアクションがあって、それでしか育まれないものがあるのかなと思います。

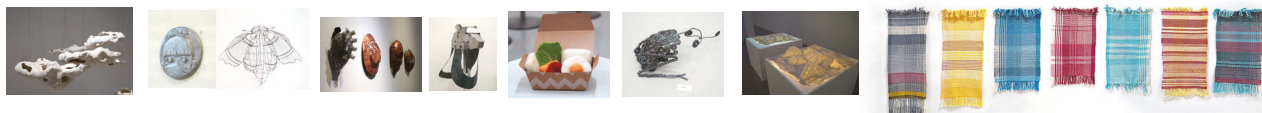
扇：素材って自分とは違う他者なんです。私た

ちは日々、その他者に対峙して制作している。それぞれの素材によって違いますが、思い通りにはなかなかならない。出てきた結果を見ながらこちらでも考え方を変え、寄り添ったり、ねじ伏せたりするというのもあるかもしれませんが、そこから次のアクションが始まる。工芸では共通しますね。

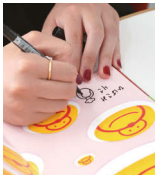
米山：とりあえず目標に向かっていくんですけど、必ず素材にねじ伏せられてしまって、わーっ、どうしようとなって、そこからもう一回始まる。そうすると最初に思っていたものよりも良くなることが多いですね。

扇：だいたい良くなるものですね。自分の経験としてはそう。失敗だと思ったことや、思い通りにならなかったことが、面白かったり、新しい魅力を発見したり。

中田：起きたことに反応していかないと、紋切り型になってしまう。すでにあつたことをなぞっていると、それ以上にも以下にもならず、ただで



誰かを笑顔にできたらいいな



NUA-Student 樋廻里彩

(ひばさみ りさ)
芸術学部 芸術学科
デザイン領域 1年生

制作したコマ撮り動画「月に一度の秘密のパン」が、高校生のアニメーションコンクール Highschool Animation Competition2020において奥田誠治賞を受賞、絵本「ちいさなおムライス」が第5回絵本出版賞 優秀賞を受賞、2019年DigiCon6 JAPAN Youth審査員特別賞受賞と、華々しい経歴の持ち主「ちいさなおムライス」の改訂版「さるシェフのおムライスやさん」で絵本作家としてもデビュー
YouTubeチャンネル「Hibari's animation」、Instagramでも活躍中

「さるシェフのおムライスやさん」



絵本作家デビュー作
発行 みらいパブリッシング
発売 星雲社



「月に一度の秘密のパン」

Highschool Animation Competition2020
受賞作品



YouTube



「ミニチュアフード」



Instagram

ストップモーションアニメの制作はいつから始めたの？

小学生の頃からですね。任天堂の3DSに「コマ撮り」という機能があって、それでやるようになりました。ゲームはあまりやっていないですね。3DSもゲームをするというより、コマ撮りのために使っていた感じですね。

アニメキャラクターの粘土やフェルトの動物はどれくらいの大きさなの？

粘土のキャラクターで10cmくらいです。パン屋さんも机に載るくらいのサイズです。勉強机に載せて撮影しているので、これくらいですね(両手を広げる)。

キャラクターやお店のセットは残してあるの？

最近、捨てちゃいました。小さいものは残してありますが、大きいものは……。新しい作品を作り始めたので、どうしても置き場所がなくて。

→うわ〜、もったいないねえ。

動画で残っているから、まあいいかなと。絵本の原画はちゃんと残してあります。絵本は手描きで、絵の具で描きました。作品としてイラストはあまり描いていませんね。本当に趣味で描いているくらいです。

アニメも絵本もストーリーがとってもいいね。ストーリーを作りたい？

話を作るのはけっこう好きですね。でも、モノを作ることも好きで、ストーリーとモノの二つをあわせてストップモーションアニメになったという感じです。

コマ撮りとかめっちゃくちゃ時間かかるし、やりきれるのがスゴイよ！ どうしてできるの？

作ることが好きだからだと思いますよ。コマ撮りは、動かないはずのものが動く、動画が完成すると自分で動いているように見える、それが好きなんです。絵を描くことは、仕上がったときに達成感があって、それが好きで描いて

います。

途中で苦しくなっていない？

はい！ 楽しみながら最後までできますね。コマ撮りも、やってみたくて始めたら楽しくて…そんな感じです。

どこから作り始めるの？ 普通ならストーリーがあって絵コンテ作ってという流れだと思うけど？

はじめに建物の外観を作りますが、その時点ではまだストーリーは考えていません。「月に一度の秘密のパン」も、パン屋さんが作りたくて、そこから考えて広がっていきました。絵コンテは苦手な、考えながら作っていくので、けっこう途中で止まったりしていますね。

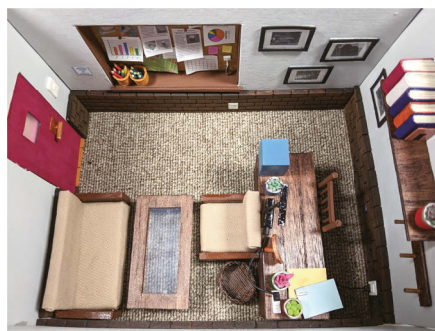
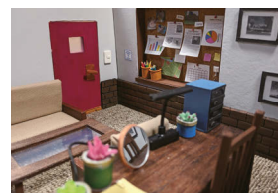
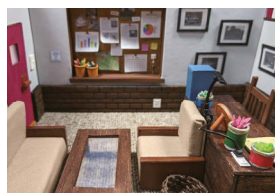
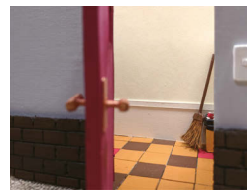
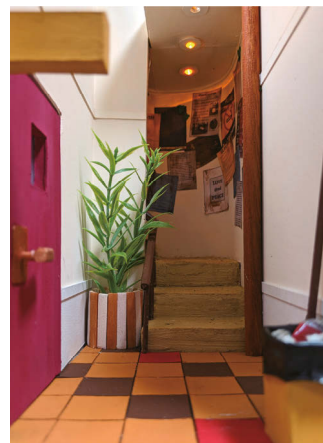
なるほど〜、セットを作ってキャラクターを置いて、動き出すのを待っている感じなんだ。

そういうことになりますね。

アニメでも絵本でもそうなんだけど、ストー



次回作は探偵ものです。事務所の外観を作っているんですけど、ヨーロッパ風になっています



リーの中でハムスターが重要な役割をしているね。なにが理由はあるの？

ハムスターを飼っていたんです。今はいなくなっちゃいましたけど、中2の頃から飼っていました。それを反映している感じですね。

-登場人物でいえば、おじいちゃんや、おばあちゃんの登場も印象的。絵本のさるシェフは何歳くらいの感じなのかな？

YouTubeで、サモという猿のキャラクターが料理をする料理シリーズの動画をアップしていますが、さるシェフはサモのおじいちゃん、70歳くらいの設定です。サモがオムライスの作り方を紹介する動画が一番人気ですね。

-実際に料理はするの？ できるの??

あまりしなくて(笑)。自分のお昼を作るくらいですね。でも、オムライスは得意です！

-新海誠が好きって聞いたけど、どこが好き？あと、ほかにも気になる作家さんはいる？

なんでも全部自分でやっているじゃないですか。その部分ですね。誰かと一緒に作るとなると、自分の好きなように作れないかなという気がします。100%自分の思い通りにしたいんです。今、気になっているのは、ドワーフというコマ撮りアニメを作っているスタジオですが、Netflixで配信している「リラックマとカオルさん」という作品があって、これがめちゃくちゃ可愛くて、こういうのを作りたいなと思っています。

-おもしろい！自分で全部やりたいんだ！共同作業をして自分が思っていたよりいいものができるよ！といった体験はないの?!

ないです(笑)。でも、絵本は担当の人とミーティングして作りましたが……。

-どうだった？

よかったです(笑)。

-あるじゃん！(笑)

動画は一人でやってきましたが、絵本で初めて誰かと一緒に作って、いいなと思いました。

-大学だと、特にアニメ系は共同作業が増えると思うよ！ところで、新しい作品を作っているってだけで、少しだけでも教えて！

探偵ものです。事務所の外観を作っているんですけど、ヨーロッパ風になっています。事務所は地下にある設定で、地下室といえば秘密基地、秘密基地といえば探偵かなって考えながら作っています。キャラクターはまだ作っていないんですけど、アヒルにしようかな……。

-楽しみ～！

新型コロナで休校になったりして家にいるときにYouTubeを見て、けっこう笑ったりしました。それで最近よく思うようになったんですけど、自分も誰かを笑わせることができたらいいなと。自分が作ったもので人をプラスの感情にできたらいいなと思っています。

マスター



アーティスト

【第53回】

〈人をつなぐ仕事〉



円頓寺商店街七夕祭り2016



古川博

(ふるかわ ひろし)

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース 非常勤講師
株式会社 ホタルギグ 代表取締役

- 1982年 福岡県生まれ
- 2004年 音楽学部音楽文化応用学科 音楽ビジネスコース卒業
日本シアタサービス 入社
- 2007年 ロンドン留学
- 2009年 舞台照明業務とグラフィックデザイン業務を主とする
コンサートサポート会社「ホタルギグ」設立
- 2016年 カブキカフェ「ナゴヤ座」をオープン
日本照明家協会「新人賞」
- 2019年 日本照明家協会「奨励賞」



芸大祭2002での演奏



名古屋駅から歩いて15分ほど、近代的なビルとは対照的な下町情緒あふれるアーケードが円頓寺商店街である。一時はいわゆるシャッター商店街として消えていってしまうのではと思われたが、近年では空き店舗をリノベーションした新しい店が増え、シャッター商店街再生の好例としてメディアで扱われることもしばしば。今回の取材先は、この円頓寺商店街の一番奥、五条橋にほど近いカブキカフェ「ナゴヤ座」。和洋折衷、ド派手なイケメンたちの華やかなパネルが並ぶ。歌舞伎でなくカブキ。芝居？ 大衆演劇？？ コロナが蔓延する以前は、女性客たちが入場口に列を成している姿がよく見られた。「もともとは、この場所でもなく、カブキじゃなくても、なんでもよかったんですよ！」快活にいつ放った。

エンターテインメントとのかかわりは高校時代にさかのぼる。ベースを手に友人たちとバンドを組み、高校生ながらライブハウスに出演、そこそこに人気を集める存在だったという。それがいつからか、自分の興味が音楽ではなかったことに気が付いた。「最初のうちは、練習して上手になっていくことが楽しかったんですが、ある程度までいく

とまったく練習もしなくなりました。友人たちはどんどん上手くなっていくのに、僕だけ上手にならない。なぜだろうと考えたら、ライブなんです。ライブでお客さんが楽しんでくれるようになると、まったく練習なくなりました。自分がやりたかったことは音楽ではなくて、みんなと楽しい時間を過ごす、楽しい場を創るってということなんだと気が付きました」音楽もベースも手段であり、目的は違うところにあった、と高校生にして気が付いたというからユニーク。演奏者になるよりもそういう場を創る仕事したいと考え、自分の進む道を探した。当時、本学にできたばかりの音楽ビジネスコースに行き当たるのも必然か。第一期生として入学する。

在学中は、思い切りやりたいことができたという。芸大祭のライブを抜本的に改革し、さまざまなジャンルのライブを複数のステージで行う音楽フェスの形式を持ち込んだりもした。「本当にいろんな経験を好き勝手やらせてもらいました。たぶん、やっかいなやつだったと思います。竹本学長にも森泉先生にも、当時から本当にお世話になりました」。

人を楽しませる仕事、その気持ちに変わりはない。卒業後、舞台を制作・運営する会社に就くのは当然の流れだった。しかし、本人はもっと遠くを見ていたようだ。「現場がどうやって動いているか、現場レベルで技術や運営がどうなっているか、そうしたことを知っておきたかったんです。





ナゴヤカブキ
「SEIMEI」



ナゴヤカブキ「THE NARUKAMI」

カブキを楽しむための工夫が随所に施される劇場。缶バッジ付きの「おひねりガチャ」や「おひねり now」の表示で舞台もお客さんも盛り上がる。コロナ対策では、舞台の無料配信を週2回行う。「毎週無料で配信しているところは日本全国探してもうちだけだと思います。見てもらう人の絶対数を増やして、なにかちょっとした取入につなげるようなアプローチを考えますが難しいですね。こういった情勢をポジティブに考えて、できることをとどんどんやってみています」



「ビジネスってなにか、と考えたとき、生活のルーティンにどこまで入り込めるかということが一番大事。トヨタはクルマを売っているだけでなく、クルマのある生活を売っているんだと聞いたことがあります。演劇でなにができるかと考えたとき、観劇が生活の一部に入り込むこと。週末、ひいきの役者を見て知り合いと会って息抜きできる場所、そんな場所を作ろうとやっています」



極上ナゴヤカブキ「SEITEN TAISEN」2019
@千種文化小劇場



極上ナゴヤカブキ2「DO-MAN」2021
@千種文化小劇場

を大きく変えていくことになる。「大須でロック歌舞伎をやっていたスーパー一座の原智彦さんと出会いまして、それで歌舞伎や演劇の世界を知ることになりました。それから日本舞踊西川流の家元の西川千雅さんと知り合いになって、名古屋武将隊のOBたちとも出会い、原さん、千雅さん、武将隊、そして僕。そのとき集まった人たちでベストのものはなにかと考えたとき、できたのがこれだったんです。円頓寺商店街を使ったイベントを企画した。『名古屋心中』という歌舞伎の演目を、商店街のさまざまな場所で第一幕はここ、第二幕はここ……と、場所を変えながらやりました。それで円頓寺とも縁ができて、カブキカフェ『ナゴヤ座』へつながっていきました」。

の原点だった。「人なんです、やっぱり人。僕は人が好きでこの仕事を始めました。その頃は、クオリティだったり舞台の内容だったり、そうしたことばかりを考えていました。そうではなく、大事に思ってくれる人を増やすことや人を楽しませることをしっかりやろうと。いままで忘れていたことに気付かされたと思っています」考えを変え、お客さんに楽しんでもらう工夫を凝らすと売上はみるみる回復。コロナ禍に見舞われている現在も舞台を続けられるよう知恵を絞って対策し、今もお客さんを楽しませ続けている。

すべて身につけ全部わかった上でプロデュースしたい、こうしたいです、といわないといいものは作れないだろうと思っていました。それで舞台会社に入りました。でも、ある程度経験を積んだら辞めよう、そういうつもりで働いていました」。

かくして、3年ほど働き、それまでに貯めた資金でロンドンに語学留学へ。あらゆるジャンルの音楽・舞台を見て回ったという。面白いのが、ロンドンでもイベントを開催していたという。「ロンドンは学生ビザでもアルバイトすることができます。クラブのバンド募集を見て知り合いになり、そのバンド主催のイベントを企画してやっていました。自分の持っているスキルや経験を活かしてできることをやろうと。イギリスのお客さんはアートが好きで、そのときは音楽とインスタレーションを合わせたイベントをやっていました」。

帰国後、フリーとなりコンサートサポート会社を立ち上げる。仕事をする中での出会いがその後

ナゴヤ座を始めてみたが決して順風満帆だったわけではなかった。舞台を存続できない、潰れる寸前のところまで追い詰められたこともあるという。「貯金も尽きて、来月の家賃も払えないというところまでいきました。役者と一緒に舞台に立ちお客さんに頭を下げ、協賛金をお願いしました。もう何ヶ月か舞台を続けさせて下さいとお願いするしかありませんでした」。

協賛金で一時はしのげたものの、反省して運営の方法を考え直した。そこで思い至ったのは自分

「あくまでもこれは手段だよって、学生にはいいと思います。エンタメコースへ来て照明を勉強してとか舞台の勉強したといっても必ずしもそうした仕事に就かなくてもいい。手段を持つことや増やすことは大事だけど、それよりもどう生きたいかが大事だよ。楽しいのは、自分が進み続けること、成長し続けること、知らない人と出会い続けること」と語る。高校生の頃描いた将来の通りに生きてきた。理想としてきた大人に近付けたという。「ただ、僕はここでは満足してはいけない。自分ももっと大きな場所でやって、もっとたくさんの人とかかわって、たくさんの笑いや笑顔がある、そんな所まで行きたいですね」。

東キャンパス 「PLAY! PARK」が やってきた!



表紙の写真は、2021年10月8日(金)～10日(日)、東キャンパス TERA およびアート&デザインセンター EASTにて、子どものための屋内広場「PLAY! PARKがやってきた!」を開催したときのものです。このイベントは東京・立川駅北口にオープンした大人も子どもも遊べる美術館と屋内広場のPLAY! MUSEUM、PLAY! PARKから、子ども向けの遊び場「PLAY! PARK」が出張したワークショップ。PLAY!

PARKの協力のもと、アート&デザインセンターの主催で行われました。これまでPLAY! PARKで開催された遊びの中から、風船をラップでくるみ割れないようにした「バルーン・モンスター」、新聞紙をくしゃくしゃにして麻縄でつるした「くしゃくしゃおぼけ」、障子紙を貼り合わせて作った巨大なたまご「ぐりとぐらの紙のたまご」、PLAY! PARKで子どもたちが作った色とりどりのPLAY! PAPERを使ってコラージュ作品を作る「Let's PLAY! PAPER」の4種類。前日からPLAY! PARKキュレーターの小栗里奈さんと、学生らが制作しました。期間中、近隣からたくさんの親子が東キャンパスを訪れました。

当日は、人間発達学部の学生らが中心のボランティアが子どもたちの対応にあたり、一緒に遊びました。いずれの遊具も身近で安価な素材が組み合わされて作られており、その工夫は素晴らしいものでした。少々壊れても何の問題もなく遊ぶことができ、子どもたちも思い切り自由に身体を使って遊びました。子どもたちが遊びやすいように構造がしっかりと考えられており、素材を用意すれば簡単に自分でも制作できる点なども非常に優れていると感じました。くしゃくしゃおぼけにぶら下がったり、バルーン・モンスターによじ登ったり、元気いっぱい遊ぶ様子がキャンパスの至る

ところで見受けられました。はしゃぎすぎて怪我をしないようボランティアの学生らが子どもの様子を見ながら相手をし、安全に遊ぶことができたことも良いことでした。

身体を使っての遊びと同時に、Let's PLAY! PAPERでコラージュ作りを楽しむ子どもたちの姿も印象的でした。あらかじめ用意されている色とりどりの紙にさらにクレヨンなどで絵や色を加え、はさみで切ったり糊付けしたりと自由に新たな作品を創作しました。じっくりと創作を楽しんでいる様子が窺えました。

身体を使うこと、じっくりと創作に取り組むこと、この2つを遊びを通して体験することができた意義深いイベントとなりました。

「名古屋芸大
グループ通信」
ウェブサイト



発行：名古屋芸術大学
企画・編集：広報部
デザイン・協力：くまな工房一社
印刷：株クイックス
発行日：2021年10月29日

【お問い合わせ先】
名古屋芸術大学 広報部
〒481-8502
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
電話 0568-24-0318
FAX 0568-24-0369
E-mail : group-tu-shin@nua.ac.jp

